

# 平成十八年度各会計決算の提案

九月二十六日の本会議で、平成十八年度の各会計決算議案二十件が上程、市長による提案説明、副市長の概要説明の後、二十八日の本会議で質疑が行われ、それぞれ各常任委員会に審査付託されました。

◎議案第三十二号「平成十八年度津山市一般会計歳入歳出決算」

予算総額は、平成十七年度からの繰越金五億二千三百五万円を含み、四百五十六億三千万円で、これに対する決算額は、歳入四百四十七億二百二十七万円、歳出は、四百三十四億四千五百九十九万円です。歳入歳出差引額十二億五千五百三十七万円のうち、六億円を地方自治法第二百三十三条の二の規定に基づき、財政調整基金に繰入れ、六億五千五百三十七万円を十九年度に繰越し

◎特別会計の予算総額は、三百八十二億三千六百七十三万円であり、これに対する決算額は、歳入が三百六十七億三千七百二十五万円、歳出は三百六十億六千五百八十三万円となっております。

◎議案第五十号「平成十八年度津山市水道事業会計決算」

収益的収支の収入は三十四億九千八百八十五万円、支出は、三十三億二千三十三万円です。その差額の一億七千五百二十二万円は、実質税引き後は、一億二千四百九十九万円の当年度純利益が生じています。

◎議案第五十一号「平成十八年度津山市工業用水道事業会計決算」収益的収支の収入は、一千百十八万円、支出は一千六百十八万円です。

## 決算委員会の日程

総務文教委員会	十月十一日(木)、十二日(金)、十五日(月)
厚生委員会	十月十八日(木)、三十日(火)
産業委員会	十一月七日(水)、八日(木)
建設水道委員会	十一月五日(月)、六日(火)

## 設計価格や原材料費を実勢価格にかえて、新しい財源の確保を

日本共産党津山市議団 末永 弘之



質問→行革という点で、土木・建築などの工事の「設計単価」を1%低くしたり、生コンなど原材料支給を実勢価格にするなど改善をして新しい財源を作

れないか。

答弁→1%で約六千万程度少なくなるが県の「建設資材価格決定」に基づいて行っている。実勢価格の把握には努力している。

質問→市長は、アルネにはじめをつける」と称してきたが「あり方検討委員会」で結論を出してもらっただけで、自然の流れをみているだけで、実際には何もしていないのではないか。

答弁→公募と専門家による第三者機関で、九ヶ月、公開で検証の論議をお願いし、市議会特別委員会の調査結果の報告などとおわせて、この問題の沈静化に大いに役立ったと理解している。

## 土地開発公社の借入金 百五十六億円の根本的解決を!

日本共産党津山市議団 久永 良一



質問→土地開発公社の借入金の解決は、津山市に責任がある。借入金残高は百

五十六億円、毎年の利息は二億七千万円、利息を上乗せして、借り換えを繰り返している。早く、根本的な解決の方向を示し、実効しなくてはいけない。特に流通センターの造成の借入金は百二十一億円、土地が売れても差損がでる。売れなければ利息が増える。強行した実行者の責任は重い。根本的な解決のためには、元金を減らす支援が必要だ。市の厳しい財政の中、長期の支援になるが、元金を減らす財源をどうするか。

答弁→総合計画に配慮した財政計画の見直しの中で財政支援を行う。

◎ 後援会が、花環、香典、祝儀などを出すと処罰されます。